

千歳市市民協働推進会議議事録（公開）

会議名	市民協働推進会議（第10期 第5回・書面）
日時	令和8年1月19日（月）～令和8年2月26日（木）
出席者	委員12人

議題	<p>(1) 協働事業実績評価</p> <p>【事業名】CHITOSEみらいEXPO(市民提案型)</p> <p>【事業名】ちとせ感覚あそびをもっと楽しくプロジェクト(市民提案型)</p>
決定事項	<p>(1) 協働事業実績評価</p> <p>【事業名】CHITOSEみらいEXPO</p> <p>次のとおり評価を実施した。</p> <p>サービス5.0 事業効果4.9 得意分野4.3 ノウハウ4.8 きっかけ4.9</p> <p>【事業名】ちとせ感覚あそびをもっと楽しくプロジェクト</p> <p>次のとおり評価を実施した。</p> <p>サービス4.8 事業効果4.8 得意分野4.9 ノウハウ4.8 きっかけ4.8</p>

◎委員 ■実施団体 □実施担当課 ○事務局 ●意見・感想

	<p>(1) 協働事業実績評価</p> <p>【事業名】CHITOSEみらいEXPO</p> <p><質疑応答></p> <p>① 自走する社会教育プログラムとするために、どのような取組み・要素が必要とお考えでしょうか。</p> <p>(回答)</p> <p>カーボンニュートラル達成に向けた能動的な活動が見込めるレベルまで団体の理解度を引き上げる必要があると考えます。そのため市民だけではなく、団体の構成員向けの啓発を実施するなど、カーボンニュートラルに造詣の深い人材育成も課題になると考えています。団体が活動していくにあたって、サステナブルな体験を提供してくれるような協力事業者も必要となりますため、団体と事業者の繋がりも必要になると考えます。</p> <p>② 令和7年度以降、この事業から他の何かにつながるような具体的なことはありますかでしょうか。</p> <p>(回答)</p> <p>令和7年度から市提案型協働事業の「ちとせゼロカーボン普及プロジェクト」で引き続き、協働していきます。</p> <p>③ イベントの来場者を増やす仕組みやアイデアはありますかでしょうか。</p> <p>(回答)</p> <p>イベント会場を青葉公園から街中に変更することや、子どもをターゲットにしながらも親御さんを巻き込み、さらに集客が見込めるゲストを招待するなどが挙げられ</p>
--	--

ます。

<総評>

今回のイベントはカーボンニュートラルの普及や環境保全の意識啓発に貢献し、幅広い層が参加しやすい工夫が施されました。防災コーナーの設置も好評で、災害への備えを考える良い機会となりました。今度はイベントの周知方法の改善や、仮設トイレや避難所のパネル展示などを加え、防災意識のさらに高いイベントを目指していただきたいと期待しております。

【事業名】ちとせ感覚あそびをもっと楽しくプロジェクト

<質疑応答>

- ① 運営資金の確保が今後の課題とする中で、資金を確保するうえでの課題や懸念点をどのように考えていますか。

(回答)

イベント当日以外の準備や調整に時間がかかるため人件費を少しでも確保をしたいが、そのために参加費を上げなくてはならず、その兼ね合いが難しいと考えます。コンテンツとして馬車や馬そりが好評であり今後も継続したいと考えているが、依頼料が多くかかります。

- ② 貴団体の活動はゼロからイチに動かした活動として十分評価されますが、今後の予定は計画されていますか。

(回答)

予算・人的負担から年に1回を目標に開催を目指して活動をしております。2026年度は他団体のイベントに合わせて開催することを計画中です。

- ③ コンテンツ利用料の一部有料化や出店料の徴収を検討しているとのことですが、キッチンカー1台当たりの料金設定など現時点の考えを教えてください。

(回答)

コンテンツは2025年度は500円(100円×5枚)のチケットを販売し、各コンテンツごとに利用料回収(例/馬車:3枚、射的:1枚、わたあめ作り:2枚等)、出店料はキッチンカーが3,000円、個人や団体は1000円で実施しました。

<総評>

今回のイベントは、コロナ禍を経て、子どもたちに外遊びの楽しさと大切さを伝える素晴らしい内容でした。春秋冬を通じて季節を感じられる工夫がされており、郷土愛にも繋がる意義深い取り組みだったと思います。準備段階では事前計画や実施、スタッフ確保など多くの苦労があったことも伺えます。また、障がいをもつ子どもたちが参加しやすいよう専任スタッフの配備など、多様性を尊重した事業運営への期待が高まります。今度も市民の期待に応えるイベントが継続的に実施されることを願っています。